

2019年12月1日

第126号

発行：日本臨床検査技師連盟
発行責任者：楢山 広美
編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

◇支部学会での連盟活動報告

支部学会での連盟ブース活動報告

毎年、各支部学会の展示場の一角に連盟ブースを開設し、連盟の広報、加入促進を行っています。
今年の支部学会での連盟ブースでの活動報告を掲載します。

中部圏支部	10月12～13日	岐阜県	長良川国際会議場
中四国支部	11月2～3日	島根県	島根県民会館
九州支部	11月2～3日	熊本県	熊本城ホール



令和元年度連盟 中四国支部ブロック活動報告

中四国支部医学検査学会（島根県松江市県民会館）において、日技連ブースを設置し広報活動を行いました。各県会長・支部長等にご協力頂き、1時間半毎に各4名が担当し、ビデオ放映と国政報告会の案内、連盟加入促進の資料の配付を行いました。行き交う人に資料の配付を行いましたが、受け取って頂けない方もおられ、厳しい現実を感じました。「どのように訴えれば関心を持ってもらえるのか？」「人ごとではない、今のままでは将来が危ういという危機感を感じてもらえるのか？」ブース内でも意見が飛び交い、ブロック会議でも多くの意見を頂きました。それを基に今後の方向性を導き出さないとはいけません。宮島議員の国政報告会は136名の参加となり、日常では聞く機会のない国政のお話、臨床検査技師を取り巻く現在の環境また、将来についてのお話に、皆さん熱心に聞き入っておられました。連盟活動に対して一人でも多くの賛同者・理解者を得て、さらに拡散していかなくてはならない事を痛感しました。



中四国支部ブロック 岡本由美

① 連盟入会が簡単に行えます

② ①連盟ホームページの「入会案内」から

③ 「会員登録をする」をクリック

④ ③情報を入力する

⑤ ④情報を登録する

⑥ 口座番号が不明な場合は「※承諾書」を記載していただければ事務局で手続きいたします

※日本臨床検査技師連盟加入手続き及び個人情報使用承諾書

令和元年度連盟 中部圏支部ブロック活動報告



令和元年10月12、13日（土・日）に岐阜市長良川国際会議場において令和元年度日臨技第58回中部圏支部医学検査学会が開催されました。連盟ブースを学会の開催会場入口に位置する企業展示場の入口に設けて頂きました。参加者が必ず通る場所であり、スタンプラリーのポイント箇所であったため、沢山の学会参加者が連盟ブースを訪れて頂きました。各支部長の力をお借りし、未加入の会員に対して連盟入会促進活動を行いました。

この学会2日目の午後1時から中部ブロック会議を行いました。宮島喜文参議院議員、椋山広美代表、中井規隆幹事長、中部6県の会長と各連盟支部長にお集まり頂き、冒頭に宮島喜文参議院議員より、ご挨拶および近況報告を頂きました。その後、小川しんじ選挙の各県総括、令和元年連盟の各県からの中間報告に続いて、次期参議院選挙の戦略並びに連盟組織強化の具体的な取り組みについて本部からの提案に基づいて話し合いを行いました。今年から連盟費の値上が行われたが、連盟加入率について伸び悩んでいる中で、各県がどのような活動を行っていくか意見交換を行った。意見の纏めとしては各県役員・理事から率先して加入、役員・理事が会員に対し連盟の必要性を訴えていくこと。このことについては連盟の活動に留まらず、日臨技においても各県会長を中心に連

盟の活動を応援する姿勢を促して欲しいことを伝えました。

連盟のホームページも新しくなり、入会方法が面倒だという意見に対して、より分かりやすいようになったと考えるが、自動引落としについての広報がなかなか浸透していないことについて、色んな技師会活動の場で、会員に連盟への加入の意思があるかどうかを問うて、意思がある会員から同意を得たならば日技連がまとめて手続きをするということを今後やって行くと椋山代表から説明がありました。もちろん会員の同意は各県で行ない、その後の手続きは日技連で行うとの事でした。14時半から15時半まで宮島喜文参議院議員国政報告会を行いました。技師会の会員、賛助会員、各県の役員に対し、議員のこれまでの活動を分かりやすく語っていただきました。また、国政の場で活動を行うためには、連盟の組織強化がいかに大事かも強く訴えられました。次の選挙を見据えた連盟強化が急務であり、自民党員を増やす事を実行しなければ自民党の推薦が得られず、同時に次期は落選になるという事であると、はっきりとされました。役員および会員が、いかに日本臨床検査技師連盟が貧弱化を自覚していないという事であり、今後、役員一人一人が行動力を示すことで連盟の強化に繋げて行こうと会を締めました。

今後も連盟活動をいかに理解していただくかを各県連盟役員と技師会役員が一つになって活動しなければならぬと考えます。

日技連中部ブロック長 別當 勝紀



令和元年度連盟 九州支部ブロック活動報告

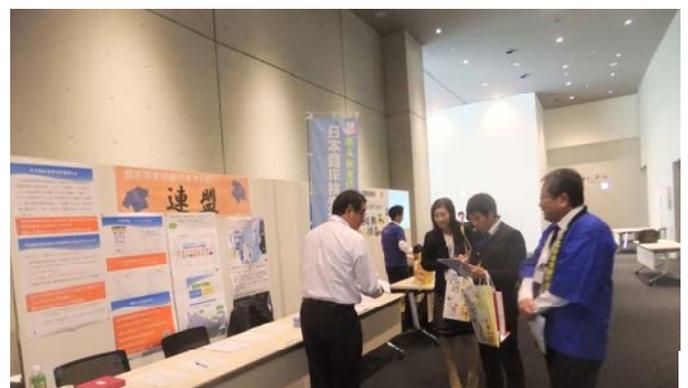
令和元年11月2～3日（日）に熊本県熊本市の熊本城ホールにおいて令和元年度日臨技九州支部学会が開催されました。この学会時に昨年と同様連盟ブースを設置し、連盟入会の促進を行うと同時に連盟のアンケート調査を実施した。また学会第2日目の11月3日（日）昼食時（12：00～13：00）に令和元年度九州ブロック会議を行った。会議には九州8県から各県支部長及び各県会長（支部長兼務を含む）、宮島議員、日技連より梶山代表、横地副代表などが出席され、総勢17名で参議員選挙の反省や今後について意見交換を行った。

まず宮島議員よりご挨拶をお願いし、次に梶山代表から資料の説明が行われた。その資料を基に各県支部から選挙総括及び現状報告をして頂いたが、主な内容としては日衛協と各県支部との連携がうまくいかなかったこと。会員への連絡が徹底できなかったことなどが挙げられた。今後については会員へ選挙への参加や連盟の必要性をいかに伝えるか？3年後の参議員選挙に向けて会員及び臨床検査関連の方々はどうしたらまとまっていけるか意見交換をしたが、残念ながら時間が足りずやや中途半端な会議となった。連盟への要望としては青年部の組織化である。各県支部の中にはまだ青年部という担当が無いため、連盟本部の青年部長がどう動いて良いのか、全国支部にどう呼び掛けていいのかが分からない現状がある。必要なのは役員からの連絡・伝達と同時に若い方々の中から会員へ呼びかけていける体制ではないでしょうか。

連盟ブースは例年同様、2時間ごとに各県で担当して頂き、アンケート調査を実施することで会員への呼びかけのきっかけにして連盟加入推進をお願いした。ブースの場所としてメインホールの近くではあったが、他の会場とは階が違ったため思ったほど会員が通ってくれなかったのが反省点だった。それでもアンケート用紙は175枚も書いて頂いたのでそれなりの成果はあったと思われる。残念ながら、連盟加入は今年が残り少ないためか0口に留まり、代わりに来年の自動引落し承諾をお願いしたところ11名の承諾書を頂いた。

最後に宮島議員による国政報告会ですが、2日目の最後のプログラムだったので会員が残ってくれるかどうか非常に心配であったが予想以上の約150名の参加があった。会員の方々も真剣に聞いて頂き技師会の歴史から政治活動の重要性などをしっかりと認識頂いたものと確信しました。会員一人ひとりが臨床検査業界の将来のために出来ることは、政治活動をしっかりと支援する事、選挙に参加する事を最後をお願いして報告会を終了した。

日技連九州ブロック長 瀧口 巖



技師連盟ホームページが新しくなりました

臨床検査技師の未来を拓く
日本臨床検査技師連盟



ホーム



組織紹介



活動内容



入会案内



会員ページ

HPアドレス

<https://www.jamt-renmei.org/>

